

# 中央クリーンセンター個別施設計画

令和3年3月

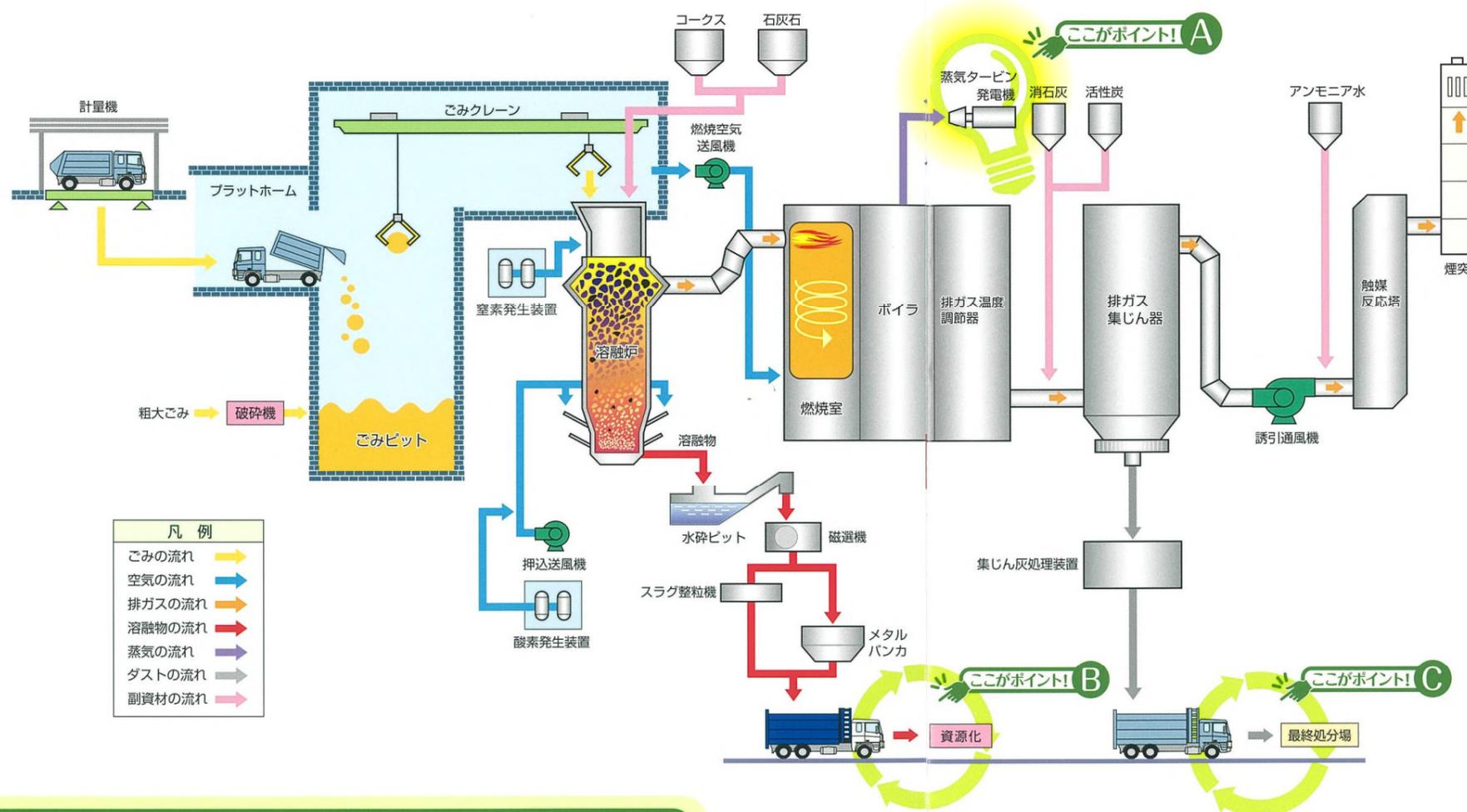
岡崎市環境部清掃施設課

## 施設の概要

- ・名称:岡崎市中央クリーンセンター
- ・事業主体:岡崎市
- ・所在地:岡崎市板田町字西流石2番地1
- ・建築面積:工場棟5,778㎡、管理棟777㎡、渡り廊下198㎡
- ・延床面積:14,473.87㎡
- ・施設規模:190t/日×2炉
- ・着工:平成17年12月
- ・竣工:平成23年6月
  
- ・施工:新日鉄エンジニアリング株式会社
- ・総事業費:約183億円(用地取得費約10億円含む)
- ・処理方式:シャフト炉式ガス化溶融施設
  - 受入・供給設備 ピット・アンド・クレーン方式
  - 燃焼設備 旋回燃焼方式
  - 燃焼ガス冷却設備 廃熱全量ボイラ方式(高効率型)
  - 排ガス処理設備 消石灰吹込、活性炭吹込、ろ過式集じん、アンモニア吹込、触媒脱硝
  - 余熱利用設備 蒸気タービン発電機(10,500kW)
  - 溶融物処理設備 水冷方式
  
- ・処理工程:別紙のとおり

# 熔融処理工程

熔融物の資源化と熱エネルギーの回収  
ごみを「安全」に処理し、「安定」して稼働ができ、「安心」していただける施設です。



凡例

ごみの流れ	→
空気の流れ	→
排ガスの流れ	→
熔融物の流れ	→
蒸気の流れ	→
ダストの流れ	→
副資材の流れ	→

排ガス基準

ばいじん	0.01g/m <sup>3</sup> N以下
硫黄酸化物(SOx)	25ppm以下
塩化水素(HCl)	30ppm以下
窒素酸化物(NOx)	50ppm以下
一酸化炭素(CO)	30ppm以下
ダイオキシン類	0.01ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下
水銀	0.05mg/m <sup>3</sup> N以下

主要設備概要

処理能力	380t/日(190t/日×2炉)
処理方式	シャフト炉式ガス化熔融施設 (コークスベッド式)
受入供給設備	ピット・アンド・クレーン方式
燃焼設備	旋回燃焼方式
燃焼ガス冷却設備	廃熱全量ボイラ方式(高効率型)
排ガス処理設備	消石灰吹込、活性炭吹込、ろ過式集じん、 アンモニア吹込、触媒脱硝
余熱利用設備	蒸気タービン発電(10,500kW)
熔融物処理設備	水冷方式

## エネルギーの再利用とごみの再資源化

**A 蒸気タービン発電**

蒸気タービン発電機はボイラから送られてきた蒸気で電気を作る機械です。ここで作られた電気はこのクリーンセンターを運転するために使い、余った電気は電力会社に送り、エネルギーを有効利用します。

**B 徹底的な再資源化**

高温熔融処理されたごみは、スラグ・メタルにされ、アスファルト合材や建設機械のおもりとして有効利用します。

**C 最終処分量の大幅低減**

熔融炉から産出されるスラグ・メタルの資源化により、埋め立て処分は飛灰のみとなり、従来方式と比べ大幅に最終処分量を低減しています。

整備履歴

稼働開始:平成23年6月

①:1号、②:2号

工程	設備機器	対象箇所	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
受入供給設備	ごみクリーン	油圧バケツ(本体)	①整備後の爪と取替②予備整備爪と取替	①爪背板丸棒摩耗部肉盛り補修	②爪背板丸棒摩耗部肉盛り補修		爪交換
		油圧バケツ(シリンダ)	①改良型油圧シリンダ取付、既設シリンダ3本整備	①油圧シリンダ用ハッキン・L型接手・球面軸受・高圧ゴムホース取替	②油圧シリンダ(補強型)へ取替・L型接手・高圧ゴムホース取替		
		油圧バケツ(油圧ユニット)	①油圧ユニット内軽整備②油圧ユニット内重整備	①各油圧機器・ハッキン・油圧ホップ・フィルタ取替・チェーンカップリング取替・ドレンプラグ用シールワッシャー取替・油面計・圧カススイッチ・タンパー取替・高圧ゴムホース・外シートホース・ユニオンエルボ・アダプタ・オス90°エルボ・コネクタ・六角穴付プラグ取替	②各油圧機器・ハッキン・油圧ホップ・フィルタ取替・チェーンカップリング取替・ドレンプラグ用シールワッシャー取替・油面計・圧カススイッチ・タンパー取替・高圧ゴムホース・外シートホース・ユニオンエルボ・アダプタ・オス90°エルボ・コネクタ・六角穴付プラグ取替	①②ごみクリーンバケツ給電ケーブル交換	消耗品交換(ハッキン、ゴムホース等)
		ワイヤー		①②ごみクリーンワイヤーロープ(各4本)交換クリップ 含	②ごみクリーンワイヤーロープ4本切詰 ①②吊下金具:コモンリンク・保護ホース取替	①②ごみクリーンワイヤーロープ交換クリップ 含 ①②ごみクリーンワイヤーロープ切詰 ②ごみクリーンワイヤーロープ(Z燃り・コッターソケット)交換	②ごみクリーンワイヤーロープ交換 ①ごみクリーンワイヤーロープ切詰
		横行・走行装置	①安全ネット取替 ②安全ネット・走行ブレーキ用マグネット・給電ケーブル取替	①走行用キャリアローラー交換			①②安全ネット取替 ①ケーブルリール スリップリング交換
		ガーター					
		巻上装置	①②コモンリンク交換	①②巻上減速機用オイル・走行キアトモーターオイル・巻上用ブレーキ用ライニング(各4枚)・巻上ワイヤードラム用軸受(各2個)交換		②巻上ワイヤードラム・ブレーキ交換 ①②乱巻検知装置用スイッチ・ガイドロー交換・巻上用ナイロンカップリング交換・回転式リミットスイッチ用チェーン交換	①②減速機オイル交換
	制御盤、操作盤					ごみクリーン自動運転用パソコンソフトインストール	
	計量機	計量器本体 データ処理装置					操作ポスト改修:IC化 更新:PC
	ごみ投入扉	本体 シュート部		No1電動シリンダ分解整備			
	ダンピングボックス	本体 シリンダ		制御用タッチパネル			
	破砕機	ケーシング	二軸:油フィルター取替、作動油全量交換		二軸:点検口扉ヒンジ部溶接補修	切断・飛散防止蓋撤去 切断・圧縮シリンダ分解整備	二軸:水冷式オイルクーラー交換、浄油器設置、シュート補修 せん断:シュート補修
		シャフト	せん断:○シリンダ	切断・圧縮シリンダ分解整備			せん断:浄油器設置
		刃					
	活性炭脱臭装置	活性炭					
炉頂装入装置	ごみコンベヤ	①サイドスカートゴム交換、ごみ受けホッパ(ごみヒット側)部緊急溶接補修②サイドスカートゴム交換、ごみ受けホッパ(ごみヒット側)部緊急溶接補修	①②サイドスカートゴム交換 ①サイドガイドプレート緊急補修 ②戻りコンベヤ:コンベヤベルト・キャリアローラー・リターンローラー・駆動チェーン交換 ①②サイドガイドプレート鋼板延長 ②No.1・2炉頂散水ノズル分解整備	①コンベヤサイドガイド切断 ①サイドスカートゴム交換 ②サイドケーシング補修 ②サイドスカートゴム交換 ②コンベヤサイドガイド切断 ②No.1・2炉頂散水ノズル分解整備 ②コンベヤサイドガイド切断	①②サイドスカートゴム交換 ①②サイドスカート鋼板当て板補修 ①戻りコンベヤ分解整備 ①No.1・2炉頂散水ノズル分解整備 ②下部シール弁ライナー溶接補修	①②サイドスカートゴム交換 ①②エアロハンABC・搬送チェーン交換	
	ごみ受けホッパ	①②シール面補修、O2バーン給気管点検口フランジサイズ変更(25A→50A)、①油圧シリンダ分解整備、①軸封部分解整備(ランタリング、グラントハッキン交換)	①②下部シール弁:三角ライナー1箇所交換 ①②上部シール弁:昇降リング用油圧シリンダ交換 ①②No.1・2散水ノズル分解整備 ①下部シール弁:角マンホール中子補修	①下部シール弁ライナー溶接補修 ①上部シール弁スプリングコイル交換 ①下部シール弁カバー(衝突板)取付 ①下部シール弁ロック装置:グラントハッキン・ランタリング交換 ②下部シール弁ライナー溶接補修 ②下部シール弁ロック装置油圧シリンダ交換 ①②No.1・2散水ノズル分解整備	①下部シール弁ロック装置油圧シリンダ交換 ①下部シール弁油圧シリンダ交換 ②上部シール弁:昇降リングシールゴム交換	①②ケーシング補修 ①②遮熱板交換・ロク装置軸封部分解整備 ①②下部シール弁:当て板補修 ②下部シール弁:耐火物補修・ケーシングライナー交換 炉頂圧入装置油圧ホップ:油圧ポンプ油漏れ補修	
出湯口耐火物	出湯口耐火物	①簡易補修	①②出湯口・下段羽口周り耐火物簡易補修 ①出湯口開閉器:開孔機ドリフター工場整備 ②出湯口開閉器:出湯口開孔機油圧ドリフター交換	①②出湯口・下段羽口周り耐火物簡易補修	①②出湯口・下段羽口周り耐火物簡易補修	①②出湯口交換 ①②出湯口・下段羽口周り耐火物簡易補修 ①出湯口開孔機:油圧ドリフター(整備品)と交換	②出湯口・下段羽口周り耐火物補修 ①②出湯口開孔機:油圧ドリフター分解整備・横行台車駆動用電動機交換 ①出湯口・下段羽口周り耐火物補修
	水砕樋耐火物		①シャフト部耐火物全面補修 ①②集じん扉左側交換			①②集じん扉左右交換	
	朝顔部耐火物				①②パッチング補修(簡易補修)		
	ケーシング	①②1Fマンホールロック(耐火1層目)交換			②1Fマンホールロック(耐火1層目)交換		

溶融設備／燃焼設備

溶融設備／燃焼設備	ガス化溶融炉本体	ごみレベル計(重錘式)						
		羽口	①下段羽口回り簡易補修 ①上3段羽口チャッキ弁交換①上2段・上1段羽口チャッキ弁(整備品)交換①中段羽口チャッキ弁(整備品)交換①下段羽口No.1.3.5No.2.4.6チャッキ弁(整備品)交換②上2段・上1段羽口チャッキ弁(整備品)交換②中段羽口チャッキ弁(整備品)交換②下段羽口No.1.3.5No.2.4.6チャッキ弁(整備品)交換	①下段No.1羽口予備と交換 ①②上3段羽口逆止弁(整備品8台)交換 ①②上2段羽口逆止弁(整備品12台)交換 ①②上1段羽口逆止弁(整備品8台)交換 ①②中段羽口逆止弁(整備品8台)交換 ①②下段羽口逆止弁(整備品6台)交換 ①送風環状管:上中段用・下段用逆止弁分解整備	①下段No.4.5羽口(整備品)と交換 ①上段No.1.2.3逆止弁(整備品)と交換 ①中段、下段逆止弁(整備品)と交換 ①送風環状管逆止弁(新品)と交換 ②下段No.4羽口(整備品)と交換、ダスト吸込み管・Y型管新品交換 ②下段No.6羽口(整備品)と交換、ダスト吸込み管新品交換 ②送風環状管逆止弁(新品)と交換	①下段No.6羽口(整備品)と交換 ②下段No.2.5羽口(整備品)と交換	①②羽口交換	
	燃焼室本体	耐火物	①②シャフト耐火物簡易補修	①シールプレート破孔部溶接補修 ①メインバーナ部・上部直胴部・直胴部耐火物部分補修	①直胴部・下部ホッパ部耐火物本格補修 ①No.3上部マンホールブロック交換 ①No.1出口温度計取付フランジ交換 ②下部ホッパ部耐火物部分補修			②直胴部・メインバーナ耐火物補修 ①上部耐火物・連絡管耐火物補修
		ケーシング	①下部ホッパ耐火物緊急補修①②ロストル交換				①②ろ液配管ゴムホース化 ②ダスト排出装置スクルー羽根補修	①②ダスト排出装置:減速機分解整備 ①②発生ガスパイプ:伸縮管補修
		主バーナ					①②補助燃焼装置サブバーナ点火用灯油配管改良	②メインバーナ:スリット補修ろ液噴霧ポンプ交換
除じん装置	スクリュウ	①②下段ヒーター(h8)工場整備①ダスト冷却機サイクロ減速機:電動機分解整備②ダスト吹込ホッパ:攪拌用サイクロ減速機電動機分解整備	②除じん器二重シールドンバ上弁弁座交換・肉盛補修 ②ダスト定量供給装置:攪拌用減速機電動機分解整備	①ダスト定量供給装置攪拌用減速機、No.2.4.6供給用減速機整備 ①No.2.4.6羽口ダスト定量供給機分解整備 ①内筒楕打装置外筒交換 ②二重シールドンバ:上弁砲身交換 ②ダスト冷却器:減速機電動機整備	①ダスト定量供給装置:No.6定量供給装置分解整備 ①ダスト定量供給装置:攪拌用サイクロ減速機電動機分解整備 ①②除じん器:下部ホッパ部鉄皮当て板補修 ①除じん器二重シールドンバ:上弁シールドンバ交換・下弁砲身交換 ②ダスト定量供給装置:No.2.4.6供給用サイクロ減速機電動機分解整備 ②No.2.4.6羽口ダスト定量供給機分解整備	①②異物排出装置:ホールバルブ溶射(工場搬出) ①除じん器加温装置:工場整備 ①除じん器:ガasket交換 ②ダスト定量供給装置:電動機工場整備		
		副資材貯留ホッパ	コークス切り出し装置 石灰石切り出し装置					
燃焼ガス冷却設備	副資材搬送装置	コンベア	No.1副資材ホスト:走行車輪交換 No.2副資材ホスト:巻上ワイヤロープ交換、シープ用ヘアリング交換 ①②副資材シール装置:衝突板ライナー交換 ①副資材シール装置:上部シールドンバシールドンバ交換		No.1副資材ホスト:走行車輪交換	No.1副資材ホスト:走行車輪交換	No.1、No.2副資材ホスト:巻上げ装置軸受交換 No.1副資材ホスト:走行用カイトロープ・巻上用ワイヤロープ・エンコーダベルト・エンコーダカップリング・プーリー・エンコーダ・軸受台・フックロックカラー・ヘアリング No.2副資材ホスト:走行用カイトロープ	
			ドラム	①②下部ホッパ耐火物吹付補修(2面) ②下部ホッパ耐火物補修(前側・後側)	①安全弁消音器:ドレン配管ルキシブルホース交換 ①②節炭器:点検用足場/スル取付		①②汽水胴安全弁・過熱器安全弁工場整備 ①圧力計配管補修	
	ボイラ	蒸発管	①燃焼室連絡管吹付施工 ①第1節炭器水管緊急バイパス施工・サポート緊急補修・ケーシング補強②燃焼室～ホッパ連絡管耐火物緊急補修 ①第1蒸発器管サポート緊急取付、下部ホッパ耐火物緊急部分補修 ②主蒸気ドレン弁配管補修	①燃焼室連絡管スタッド取付 ①1次過熱器管寄せ入口・出口フランジ部ガスケット交換	①ホッパ缶水連続ブロー弁交換 ②ホッパ缶水連続ブロー弁2次側配管補修		①1次過熱器入口フランジパッキン交換 ①②主蒸気止弁・給水止弁・急開弁・漸開弁分解整備 ②スチームトラップ交換 ①第1蒸発器管支持金物交換	
		水冷壁管						
	ストロブロー	本体	①No.1No.2スピンドルナット摩耗による分解整備、No.17ウダーチューブ曲り修正 ②No.4スピンドルナット摩耗による分解整備	①No.8・10スピンドルナット、スクレーパープレート、バルブディスク組品 ①No.9スピンドルナット、スクレーパープレート、バルブディスク組品 ②No.4・9緊急分解整備	①No.1.2スピンドルナット、スクレーパープレート ②No.4.6デイスタンスフランジ交換、No.8.10バルブホディ交換 ②No.4・6スピンドルナット、スクレーパープレート ②No.8スピンドルナット、スクレーパープレート、バルブホディ ②No.8スピンドルナット、スクレーパープレート、バルブホディ、バルブディスク	①No.5.6分解整備 ①No.4.6.7分解整備 ①②No.8.9.10ストロブローギアードモーター更新 ②No.1.2.5分解整備	②No.1～6.9分解整備 ①No.1.3～5.7分解整備	
ボイラ給水ポンプ	ケーシング・インペラ・軸受		No.1分解整備・電動機分解整備 No.2・3ホンプ入口弁交換 ①②ホッパ給水流量調整弁分解整備			No.1分解整備 No.2～3電動機工場整備		
脱気器			脱気器圧力調節弁分解整備					
脱気器給水ポンプ	ケーシング・インペラ・軸受					①脱気器給水ポンプ分解整備		
タービン排気復水器	バンドル							
	ファン 減速機							

	純水装置	槽 ポンプ	PH電極計交換 活性炭ろ過塔:活性炭交換・マンホールバック交換 No.1・2NaOH注入ポンプ分解整備 No.2昇圧ポンプ・メカニカル交換 No.1・2スケール防止剤注入ポンプ分解整備 清缶剤用ポンプ(3台)分解整備 脱酸剤用ポンプ(2台)分解整備 サンプリング装置:pH電極・サイトグラス交換	①ろ過器逆止弁、流量計交換 ②ボイラ缶水サンプリングクーラー・入口ユニオン交換	No.3清缶剤用ポンプ緊急分解整備	本体RO膜洗浄 サンプリング装置:サンプリングクーラー分解整備費、PH計電極交換費 No.1～No.3清缶剤注入ポンプ:分解整備 No.1～No.2脱酸剤注入ポンプ分解整備 純水装置:活性炭塔ろ材交換・本体RO膜洗浄・PH電極計交換・ろ過塔廻り電動弁、配管交換 No.1～2苛性ソーダ注入ポンプ:分解整備 No.1昇圧ポンプ:分解整備 No.1～2スケール防止剤注入ポンプ分解整備 RO洗浄ポンプ分解整備	
排ガス処理設備	減温塔				②排ガス温度調節器:タスト排出装置攪拌羽根交換		
	バグフィルタ	ケーシング					
		ろ布	①ろ布3本交換 ②ダスト排出装置用サイクロ減速機1段目整備、アンモニア水噴霧ノズル部品購入(ノズル本体、チップ、ホース)		①吹き漏れ4箇所確認新品に交換		
	乾式有害ガス除去装置	定量供給装置	アンモニア水供給ポンプ消耗品交換	①②排ガス温度調節装置:噴霧水ホース交換 アンモニア水貯留槽:センサー交換 ②ダスト吹込装置:攪拌用サイクロ減速機電動機分解整備	アンモニア水供給ポンプ消耗品交換・センサー交換	①②共用アンモニア水供給ポンプ分解整備(消耗品交換) アンモニア水貯留槽:センサー交換	①②排ガス温度調節装置:ロータリーバルブ交換・減速機交換 ①②噴霧ノズル:ノズル交換 アンモニア水貯留槽:センサー交換 ①②共用アンモニア水供給ポンプ交換
		ブロワ本体		共用消石灰供給アロ分解整備	①消石灰供給ブロワ分解整備 ②消石灰供給ブロワ分解整備		
タンク			①排ガス温度調節器ダスト排出装置:減速機電動機分解整備 活性炭定量切出装置:攪拌用サイクロ減速機電動機分解整備	②触媒反応塔:触媒交換4段目 ②排ガス温度調節器:パッチ当て補修	①排ガス集じん器:ダスト排出装置用サイクロ減速機電動機分解整備 ①触媒反応塔:触媒交換4段目	①②排ガス集じん器:ロータリーバルブ交換 ②触媒反応塔:触媒ケース製作・触媒交換4段目	
給水設備	機器冷却装置	・主要部 ・各ポンプ	No.17ラウト用水揚水ポンプ:電動機分解整備 No.1～3冷却塔ファン電動機軸受交換 No.1～5冷却塔ファンベルト交換 機器冷却水薬注装置:薬注ポンプ消耗品交換	No.2冷却塔ファン分解整備	冷却塔ファンVベルト交換・No.4.5電動機交換 機器冷却水薬注装置:薬注ポンプ分解整備		
余熱利用設備	蒸気タービン	本体					
		弁類					
		ガバナ					
		減速機	No.2・3タービン排気復水器ファン:電動機カップリングコム交換				
	ターニング装置					主油タンク整備:オイルクリナー設置	
通風設備	押込送風機		No.1・2窒素発生装置:活性炭・各フィルタ・各電磁弁・酸素濃度計交換				
	炉温調整用送風機		①②号再循環ダクト:再循環ガス流量計ピトー管取付フランジ交換 ①燃焼空気送風機:送風機・電動機分解整備	②燃焼空気送風機:電動機分解整備	①②燃焼空気送風機:入口弁分解整備		
	蒸気式空気予熱器						
	誘引送風機		①②炉頂圧制御ダンパハンダ分解整備	①吐出側シールボックス交換	①可変速電動機盤セル交流ヒューズ断対応	①誘引通風機:電動機分解整備・伸縮管交換	
飛灰処理設備	貯槽	本体	集じん灰定量供給装置:サイクロ減速機電動機(上側)本体取替				
	コンベヤ	本体	No.3リターン灰コンベヤ:底うけ交換 No.1集じん灰コンベヤ:コンベヤチェーン・フライト交換			No.1集じん灰コンベヤ:コンベヤチェーン交換	
	混練機	本体	No.1ロッド交換(No.2よりNo.1へ移設) No.2薬剤供給ポンプ消耗品交換				
	排出バンカ	本体					

溶融物処理設備	水砕装置	水砕水冷却器	1号水砕ビット:揺揚げコンベヤ駆動チェーン全数交換、揺揚げコンベヤスクレーバ、シャクル全数交換、中間ロー軸受組品2本交換、中間テールロー軸受組品、揺揚げコンベヤ駆動軸Assy交換、散水配管3本交換、ガイドレール交換、ケーシング水漏れ補修 2号水砕ビット:揺揚げコンベヤ駆動チェーン全数交換、揺揚げコンベヤスクレーバ、シャクル全数交換、中間ロー軸受組品2本交換、中間テールロー軸受組品、揺揚げコンベヤ駆動軸Assy交換、散水配管3本交換、上部ガイドレール交換	①②水砕ビット:ケーシング水漏れ補修 ①水砕冷却器蓋交換 ②2号水砕ビットケーシングパッチ当て補修	①扉補修①扉交換②扉補修	①底板ライフ緊急当て板補修 ①水砕ビット:No.1・2水砕水循環ポンプ潤滑油・逆止弁交換、山水ホップ定期交換、中間ロー、駆動軸Assy交換、ドラム型中間ロー補修、中間テールローAssy、搬送チェーン、スクレーバ交換、水砕水散水ホップ緊急交換 ②水砕ビット:No.1・2水砕水循環ポンプ潤滑油交換、中間ロー、駆動軸Assy交換、ドラム型中間ロー、中間テールローAssy、搬送チェーン、スクレーバ交換、水砕水散水ホップ潤滑油交換	①水砕ビット:底板・ケーシング漏れ補修 ②水砕ビット:底ライフ補修 ①②冷却器扉交換	
		水砕水散水ポンプ	②No.1No.2水砕水循環ポンプ:逆止弁交換		②ポンプ交換		①②No.1No.2水砕水循環ポンプ:潤滑油交換 ①②水砕水散水ホップ:潤滑油交換	
	溶融物ホイス 大塊ホイス	油圧バケツ(本体)						溶融物バケツタワ補修
		油圧バケツ(シリンダ)						
		油圧バケツ(油圧ユニット)						
		ワイヤー		大塊ホイス:巻上げワイヤー交換 溶融物ホイス:巻上げワイヤー交換・シープ用ベアリング交換				溶融物ホイス:巻上げワイヤー交換・ロードセル交換 大塊ホイス:巻上げワイヤー交換・ロードセル交換
		横行・走行装置						
	整粒機	刃・ハンマー	スラグ整粒機:消耗品(ライナー、ドラムエッジ、キャップ、シェルフリング)交換、シェルフ、ロータリードラム交換	スラグ整粒機:消耗品(ライナー、ドラムエッジ、キャップ、シェルフリング)交換、シェルフ、ロータリードラム交換			スラグ整粒機:消耗品(ライナー、ドラムエッジ、キャップ、シェルフリング)交換	スラグ整粒機:消耗品(キャップ、シェルフリング、ドラムエッジ、ライナー)交換
		ケーシング						
	スラグ・メタル排出コンベヤ	チェーン、スクレーパ	スラグ水切りコンベヤ:中間ローラ交換	スラグ水切りコンベヤ:搬送チェーン・スクレーバ・ガイドレール・中間ローラ交換 No.1溶融物コンベヤ:底ライフ交換 磁選水薬注装置:薬注ホップ消耗品交換、薬注ライン配管交換				スラグ水切りコンベヤ:チェーン・シャクル・ガイドレール交換 スラグコンベヤ:電動機分解整備
磁選機	ドラムライナー	磁選フィーダ:底ライナー交換、磁選機:主ドラム、取出、供給ガイド ライナー交換、磁選水循環ポンプ交換、磁選水薬注装置:薬注ホップ交換、アクチュエータ、三方弁交換、背圧弁分解整備	磁選機:各ライフ交換 磁選フィーダ:底ライフ交換、磁選ホップ:重量表示器交換 磁選水薬注装置:薬注ホップ・アクチュエータ・三方弁交換	○ドラムエッジ・ロータリードラム・シェルフリング交換	○取出しドラム緊急交換	磁選機:各ライフ交換 磁選水薬注装置:薬注ホップ分解整備 溶融物フィーダ:底ライナー交換		
用役設備	計装用空気圧縮機	本体	No.1・2・3:6000時間メンテナンス(オイルセパレーター・オイルフィルター・エア・エレメント・オイルレベルゲージ、オリフ・バルコン ASSY・パタライバルブベアリング)・電磁弁SV1ダイヤフラムキット、フランジヤキット・電磁弁SV2・電磁弁SV3・逆止弁部オリフ等・自動放出弁ダイヤフラム・圧力調節弁バルブCP・オイルリターフィルター・オートドレン・オイルクーラー薬品洗浄・アフタークーラー分解清掃・油交換)	No.1真空ポンプ:本体分解整備・潤滑油・Vベルト・電動機軸受・絶縁フッシ交換 No.2真空ポンプ:潤滑油・Vベルト交換 No.1,2,3空気圧縮機分解整備	No.1,2,3,4空気圧縮機分解整備 No.1,2,3エアフィルタ・ミストフィルタ・活性炭炭フィルタ交換	No.3空気圧縮機分解整備・電動機固定子コイル巻直し No.1,2,4空気圧縮機分解整備 No.1・2・3ミストフィルタ・活性炭フィルタ:各フィルター交換	No.1・2・3エアフィルタ・ミストフィルタ・活性炭炭フィルタ:各フィルター交換 No.1,2,3,4空気圧縮機分解整備・クーラー洗浄 No.1原料フロア分解整備 No.1真空ポンプ:Vベルト交換・廻りハルブスキッド(アンロード弁・2段バイパス弁分解整備) No.2真空ポンプ:分解整備・電動機分解整備・廻りハルブスキッド(アンロード弁分解整備)	
	雑用空気圧縮機	本体	No.1低圧製品圧縮機:メーカー工場分解整備・潤滑油交換・Vベルト交換 No.2低圧製品圧縮機:Vベルト交換				原料フロア:バイパス弁・吐出弁分解整備 上部ハルブスキッド:製品弁A・B分解整備 No.1低圧製品圧縮機:Vベルト交換 No.2低圧製品圧縮機工場整備 高圧製品圧縮機:Vベルト・ブリー交換	
	除湿器	本体						
高圧受配電・受変電設備	高圧受配電・受変電設備	構内引込用柱上開閉器						
	高圧受電盤							
	高圧配電盤							
	高圧進相コンデンサ・リアクトル							
高圧変圧器								

電気計装設備

電力監視盤						
低圧配電設備	440V用動力主幹盤					
	200V用動力主幹盤					
	照明用単相主幹盤					
	非常用電源盤					
	その他配電盤					
低圧動力設備	動力制御盤					
	現場制御盤					
	現場操作盤					
中央監視操作盤	本体					
IDF用VVVF制御盤	本体					
タービン発電設備	タービン発電機					
	発電機監視盤					
	発電機遮断機					
	タービン起動盤					
非常用発電設備	非常用原動機					
	発電機					
無停電電源設備	交流無停電電源装置					○部品交換
DCS監視制御装置		○本体、防塵フィルタ、バックアップバッテリー	○防塵フィルタ、バックアップバッテリー	○マザーボード、冷却ファン、防塵フィルタ、バックアップバッテリー	○防塵フィルタ、バックアップバッテリー	○電源ユニット、防塵フィルタ、バックアップバッテリー
ACC装置						
排ガス分析計	Nox・SO2・CO・O2・HCL・ばいじん計		①②発生ガス分析計・発生ガス分析計前処理装置・排ガス分析計・排ガスHCL分析計・排ガスばいじん計：消耗品交換			2号系・共通系調節弁整備 発生ガス分析計・排ガス分析計整備 排ガスHCL、ばいじん濃度計整備
ITV装置					他所灰ビット：CCDカラーカメラ修理	○プラットホーム2台 ②出湯口撮影機整備(電源トランス交換) 他所灰ビット撮影機整備(電源トランス、電解コンデンサ、テープ電線)

①：1号、②：2号  
○：整備

管理基準

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)	
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度		
受入供給設備	ごみクレーン	油圧バケット(本体)	変形・摩耗			○	著しい変形、摩耗がないこと	6か月/回	7~15年	
		油圧バケット(シリンダ)	摩耗			○	著しい摩耗、油漏れがないこと	6か月/回		
		油圧バケット(油圧ユニット)	劣化			○	開閉速度低下や異常音、温度上昇、油漏れはないこと	6か月/回		
		ワイヤー	変形			○	基準以内であること(素線切断、直径減少等)	6か月/回	1~2年	
		横行・走行装置	摩耗			○	基準以内であること	6か月/回	10~15年	
		ガーター	摩耗			○	基準以内であること	6か月/回	15~20年	
		巻上装置	劣化・摩耗			○	基準以内であること	6か月/回	10~15年	
		制御盤、操作盤	劣化			○	①著しい損傷がないこと ②正常に動作すること	6か月/回	5~10年	
		計量機	計量器本体	荷重試験			○	検定公差が計量法基準以内であること	2年/回	15~20年
	劣化					○	①腐食、穴開き等著しい劣化がないこと ②寸法計測にて基準値以内であること	2年/回		
		データ処理装置	システム動作状況				○	動作不良のないこと	1~2年/回	5~10年
				システム老朽化			○	故障頻度が高くないこと OS・ソフトのメーカーの保守部品供給が可能な期間であること。	1~2年/回	
		ごみ投入扉	本体	腐食・変形			○	著しい腐食・変形がないこと	1~3年/回	15~20年
			シュート部	腐食・摩耗			○	著しい腐食・摩耗がないこと	4年/回	
		ダンピングボックス	本体	腐食・摩耗			○	著しい腐食、摩耗のないこと	1~2年/回	15~20年
			シリンダー	摩耗			○	著しい摩耗がないこと	1年/回	10~15年
		破砕機	ケーシング	腐食・摩耗			○	著しい腐食、摩耗のないこと	2年/回	15~20年
			シャフト	摩耗			○	著しい摩耗がないこと	1年/回	10~15年
			刃	摩耗			○	著しい摩耗がないこと	6か月~1年	消耗品
		活性炭脱臭装置	活性炭	劣化			○	①著しい劣化のないこと ②性能が低下していないこと	1~2年/回	3~5年

BM: 事後保全  
TBM: 予防保全(時間基準保全)  
CBM: 予防保全(状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
溶融設備 ／ 燃焼設備	炉頂装入装置	ごみコンベヤ	摩耗			○	腐食・摩耗・伸びのないこと	1年/回	10～15年
		ごみ受けホッパ	摩耗			○	著しい摩耗のないこと	1～3年/回	15～20年
	ガス化溶融炉本体	出湯口耐火物	減耗・脱落			○	①著しい損傷がないこと ②寸法計測により残存厚が基準以上であること。	1年/回	4ヶ月～1年
		水砕樋耐火物	減耗・脱落			○	著しい損傷がないこと	1年/回	1～5年
		朝顔部耐火物	減耗・脱落			○	①著しい損傷がないこと ②寸法計測により残存厚が基準以上であること。	6ヶ月～1年/回	
		ケーシング	腐食・減耗			○	①腐食・変形・亀裂等著しい損傷がないこと ②肉厚計測により、基準以上残存していること	1年/回	15～20年
		ごみレベル計 (重錘式)	摩耗・腐食			○	重錘、チェーン損傷がないこと	-	-
		羽口	摩耗・腐食	○	○	○	減耗・破損のないこと	1年/回	1～2年
	燃焼室本体	耐火物	減耗・脱落			○	①著しい焼損・摩耗がないこと ②寸法計測等が基準以内であること	1年/回	5～10年
		ケーシング	腐食・減耗			○	腐食・変形・亀裂等著しい損傷のないこと	1年/回	15～20年
		主バーナ	摩耗・減耗			○	腐食・変形・亀裂等著しい損傷のないこと	1～2年/回	5～10年
	除じん装置	スクリー	腐食・減耗			○	腐食・変形・亀裂等著しい損傷のないこと	1年/回	10～15年
	副資材貯留ホッパ	コークス切り出し装置	摩耗	○	○	○	異常音・振動がないこと	1～2年/回	10～15年
		石灰石切り出し装置	摩耗	○	○	○	異常音・振動がないこと	1～2年/回	10～15年
	副資材搬送装置	コンベア	摩耗			○	腐食・摩耗・伸びのないこと	1年/回	10～15年

BM: 事後保全  
TBM: 予防保全 (時間基準保全)  
CBM: 予防保全 (状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
燃焼ガス冷却設備	ボイラ	ドラム	腐食			○	①目視による異物・腐食・浸食・状態変化その他の異常がないこと ②溶接線・溶接箇所のPT検査、必要に応じてMT検査により有害な欠陥がないこと	1~2年/回	15~20年
		蒸発管	腐食			○	目視による異常な摩耗・亀裂・変形がないこと	1年/回	7~15年 ※部位による
			肉厚(余寿命評価)			○	経年変化により余寿命評価を行う	2年/回	
		水冷壁管	腐食			○	目視による異常な摩耗・亀裂・変形がないこと	1年/回	
	肉厚(余寿命評価)				○	経年変化により余寿命評価を行う	2年/回		
	スートブロウ	本体	腐食・摩耗			○	著しい腐食・摩耗がないこと	1年/回	15~20年
	ボイラ給水ポンプ	ケーシング	腐食・摩耗			○	著しい腐食・摩耗がないこと	1~2年/回	10~15年
		インペラ	腐食・摩耗			○	①著しい腐食・摩耗がないこと ②寸法計測により管理値以内であること		
		軸受	摩耗			○	異常音・振動・発熱がないこと		
	脱気器	本体	腐食			○	著しい腐食がないこと	1~2年/回	15~20年
	脱気器給水ポンプ	ケーシング	腐食・摩耗			○	①著しい腐食・摩耗がないこと ②異常音・振動・発熱がないこと	1~2年/回	10~15年
		インペラ	腐食・摩耗			○	①目視にて著しい腐食・摩耗がないこと ②寸法計測により管理値以内であること		
		軸受	摩耗			○	①異常音・振動・発熱がないこと ②振動測定の結果が管理値以内であること		
	タービン排気復水器	バンドル	浸食			○	①目視にて著しい腐食がないこと ②肉厚測定により基準値以上残存していること	1~4年/回	10~15年
		ファン	変形			○	目視にて著しい変形・亀裂がないこと		
減速機		摩耗			○	①異常音・振動がないこと ②歯面の当たり異常がないこと			
純水装置	槽				○	槽の基準に準ずる	1~2年/回	15~20年	
	ポンプ				○	ポンプの基準に準ずる	1~2年/回	10~15年	

BM:事後保全  
TBM:予防保全(時間基準保全)  
CBM:予防保全(状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				MB	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
排ガス処理設備	減温塔	ケーシング	腐食・摩耗			○	著しい腐食・摩耗のないこと	1~2年/回	10~15年
	バグフィルタ	ケーシング	腐食			○	著しい腐食減肉や破孔がないこと	1~2年/回	15~20年
		ろ布	劣化			○	破れ等がないこと		3~5年
	乾式有害ガス除去装置	定量供給装置	変形			○	著しい変形がないこと	1~4年/回	10~15年
		ブロワ本体	摩耗			○	①異常音・振動・発熱がないこと ②振動測定の結果が管理値以内であること	1年/回	
	タンク	変形			○	著しい変形がないこと	1~4年/回	15~20年	

BM:事後保全  
TBM:予防保全(時間基準保全)  
CBM:予防保全(状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
給水設備	機器冷却装置	主要部	劣化			○	①著しい漏れ・破損・変形・亀裂がないこと ②振動測定において管理値以内であること	1ヶ月～4年	15～20年
	ポンプ	排ガス減温水ポンプ	腐食・摩耗			○	①著しい腐食・摩耗がないこと ②異常音・振動・発熱がないこと	1～2年/回	10～15年
		プラント機器冷却水ポンプ				○			
		排気復水ポンプ点検整備				○			
タービントレン移送ポンプ				○					

BM: 事後保全  
TBM: 予防保全(時間基準保全)  
CBM: 予防保全(状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
余熱利用設備	蒸気タービン	本体	蒸気漏れ・振動・軸心			○	①錆、変色、腐食、浸食、亀裂、接触がないこと ②ケーシング水平度、軸曲り、軸心計測、軸受、ラビリンス隙間計測 ③PT試験により有害な亀裂の無いこと ④MT試験により有害な亀裂の無いこと(8時超特別精密点検)	2～4年/回	15～20年
		弁類	蒸気漏れ・作動確認			○	①亀裂・弁棒摺動部の摩耗・焼付き・曲りのないこと ②PT試験により有害な亀裂の無いこと ③バネ自由長計測		10～15年
		ガバナ	作動状況			○	①ハンチングがないこと ②レバー機構に異常なガタがないこと		7～10年
		減速機	歯面状況・油漏れ・異音			○	①歯面当たり、ピッチング、発錆、摩耗がないこと ②PT試験により有害な亀裂の無いこと		10～15年
		ターニング装置	自動起動・インターロック・自動離脱			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②嵌脱作動に異常がないこと		10～15年

BM: 事後保全  
TBM: 予防保全(時間基準保全)  
CBM: 予防保全(状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
通風設備	押込送風機	ケーシング	腐食			○	①腐食、歪、漏れのないこと ②板厚測定により減肉が管理値以内であること	1~3年/回	15~20年
		インペラ	腐食			○	①腐食、摩耗、割れ、軸の曲りのないこと ②肉厚測定により減肉が管理値以内であること ③性能低下のないこと		
	炉温調整用送風機	ケーシング	腐食			○	①腐食、歪、漏れのないこと ②板厚測定により減肉が管理値以内であること	1~3年/回	15~20年
		インペラ	腐食			○	①腐食、摩耗、割れ、軸の曲りのないこと ②肉厚測定により減肉が管理値以内であること ③性能低下のないこと		
	蒸気式空気予熱器	伝熱管	腐食			○	腐食、摩耗、亀裂のないこと	1年/回	10~20年
		ケーシング	腐食			○	腐食、割れのないこと		15~20年
	誘引送風機	軸受	異音・振動			○	①異常音・振動・発熱がないこと ②振動測定により管理値以内であること	1~3年/回	5~10年
		ケーシング	腐食			○	①腐食、歪、漏れのないこと ②板厚測定により減肉が管理値以内であること		15~20年
		インペラ	腐食			○	①腐食、摩耗、割れ、軸の曲りのないこと ②肉厚測定により減肉が管理値以内であること ③性能低下のないこと		

BM: 事後保全  
TBM: 予防保全(時間基準保全)  
CBM: 予防保全(状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				MB	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
飛灰処理設備	貯槽	本体	腐食・摩耗			○	著しい腐食、摩耗のないこと	1年/回	15~20年
	コンベヤ	本体	腐食・摩耗			○	著しい腐食、摩耗のないこと	1年/回	10~15年
	混練機	本体	摩耗			○	著しい摩耗のないこと	6ヶ月~1年/回	10~15年
	排出バンカ	本体	腐食・摩耗			○	著しい腐食、摩耗のないこと	1年/回	10~15年

BM: 事後保全  
TBM: 予防保全(時間基準保全)  
CBM: 予防保全(状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
溶融物処理設備	水砕装置	水砕水冷却器	腐食・摩耗			○	著しい腐食、摩耗のないこと	6ヶ月～1年/回	5～10年
		水砕水散水ポンプ	腐食・摩耗			○	著しい腐食、摩耗のないこと	6ヶ月～1年/回	
	溶融物ホイスト 大塊ホイスト	油圧バケット(本体)	変形・摩耗・腐食			○	著しい変形・亀裂・摩耗がないこと	1ヶ月～1年/回	5～10年
		油圧バケット(シリンダ)	摩耗			○	①油漏れや著しい摩耗がないこと ②開閉速度が低下していないこと	1ヶ月～1年/回	5～10年
		油圧バケット(油圧ユニット)	劣化			○	油漏れや著しい変形がないこと	1ヶ月～2年/回	5～15年
		ワイヤー	劣化・摩耗			○	法規制による基準以内であること(素線切断、直径減少等)	1年/回	1～2年
		横行・走行装置	摩耗			○	法規制による基準以内であること(車輪径、レール等)	1年～4年/回	10～15年
		ガーダー	変形			○	法規制による基準以内であること	1年～4年/回	15～20年
	整粒機	刃・ハンマー	腐食・摩耗			○	①著しい腐食・摩耗・亀裂のないこと ②寸法計測で管理値以内であること	1ヶ月～6ヶ月/回	消耗品
		ケーシング	腐食・摩耗			○	著しい腐食、摩耗が認められないこと	6ヶ月～1年/回	5～10年
	スラグ・メタル排出コンベヤ	チェーン、スクレーパ	腐食・摩耗			○	①著しい変形・腐食・摩耗が認めれないこと ②チェーンは寸法計測により管理値以内であること	1年/回	5～10年
	磁選機	ドラムライナー	腐食・摩耗			○	①著しい腐食・摩耗、変形がないこと ②肉厚測定により残存厚が管理値以上であること	1ヶ月～1年/回	5～10年

BM:事後保全  
TBM:予防保全(時間基準保全)  
CBM:予防保全(状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
用役設備	計装用空気圧縮機	本体	摩耗			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②吐出圧力、温度が管理値以内であること	1～4年/回	10～15年
	雑用空気圧縮機	本体	摩耗			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②吐出圧力、温度が管理値以内であること	1～4年/回	10～15年
	除湿器	本体	摩耗			○	①異常音、振動、発熱がないこと ②吐出圧力、温度が管理値以内であること	1～4年/回	10～15年

BM: 事後保全  
TBM: 予防保全 (時間基準保全)  
CBM: 予防保全 (状態基準保全)

工程	設備機器	対象箇所	診断項目	保全方式			管理基準		耐用年数 (参考)
				BM	TBM	CBM	評価方法	診断頻度	
電気計装設備	高圧受配電・受変電設備	構内引込用柱上開閉器	外観点検、増締め、操作機構点検、接地線点検、遮断器試験、絶縁診断			○	絶縁抵抗値が管理値以上であること	1年/回	10～20年
		高圧受電盤			○	①絶縁抵抗値が管理値以上であること			
		高圧配電盤			○	②動作が正常であること			
		高圧進相コンデンサ・リアクトル			○				
	高圧変圧器	本体	外観点検、増締め、異常診断			○	①絶縁抵抗値が管理値以上であること ②絶縁油劣化試験	1年/回	15～20年
	電力監視盤	本体	外観点検、増締め、動作確認、継電器試験			○	①絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	1年/回	15～20年
	低圧配電設備	440V用動力主幹	遮断器試験			○	①絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	1年/回	15～20年
		200V用動力主幹	継電器試験			○			
		照明用単相主幹	絶縁診断			○			
		非常用電源盤				○			
	低圧動力設備	その他配電盤				○			
		動力制御盤	絶縁診断			○	①絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること	1年/回	10～20年
		現場制御盤	遮断器試験			○			
	現場操作盤				○				
	中央監視操作盤	本体	動作確認			○	動作が正常であること	1年/回	10～20年
	IDF用VVVF制御盤	本体	動作確認			○	動作が正常であること	1年/回	10～20年
	タービン発電設備	タービン発電機	絶縁診断			○	絶縁抵抗値が管理値以上であること	1～4年/回	15～20年
		発電機監視盤	遮断器試験			○	①絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること		
		発電機遮断機	継電器試験			○			
		タービン起動盤	絶縁診断			○			
非常用発電設備	非常用原動機	機能点検 負荷試験			○	①動作が正常であること ②負荷運転で異常のないこと	1年/回	10～20年	
	発電機	絶縁診断、遮断器試験、保護装置試験			○	①絶縁抵抗値が管理値以上であること ②動作が正常であること			
無停電電源設備	交流無停電電源装置	絶縁診断 バッテリー点検			○	①絶縁抵抗値が管理値以上であること ②バッテリー特性が正常であること	1年/回	7～15年	
DCS監視制御装置	本体	機能点検			○	機能が正常であること	1年/回	7～15年	
ACC装置	本体	機能点検			○	機能が正常であること	1年/回	7～15年	
排ガス分析計	Nox・SO2・CO・O2・HCL・ばいじん	機能点検、計器調整、部品交換			○	機能が正常であること	1年/回	10～15年	
ITV装置	本体	機能点検			○	機能が正常であること	1～5年/回	15～20年	

BM: 事後保全  
TBM: 予防保全 (時間基準保全)  
CBM: 予防保全 (状態基準保全)

## 延命化対策の目標

A 延命化の目標年 令和27年度

設定理由

平成23年7月から中央クリーンセンターが35年間稼働予定のため

地域における類似施設との集約化の可能性

岡崎西尾ブロックで施設整備するため、集約化済み

地域における類似施設一覧

市町村名	施設名称	処理能力	稼働予定期間
豊田市	渡刈クリーンセンター	405t/日	2007年4月～
豊田市	藤岡プラント	90t/日	1994年11月～
安城市	環境クリーンセンター	現240t/日	2011年度の長寿命化計画に基づき2012年度から延命化対策。衣浦東部ブロックで広域化
西尾市	西尾市クリーンセンター	現195t/日	2030年度～岡崎市・幸田町と岡崎西尾ブロックで広域化計画







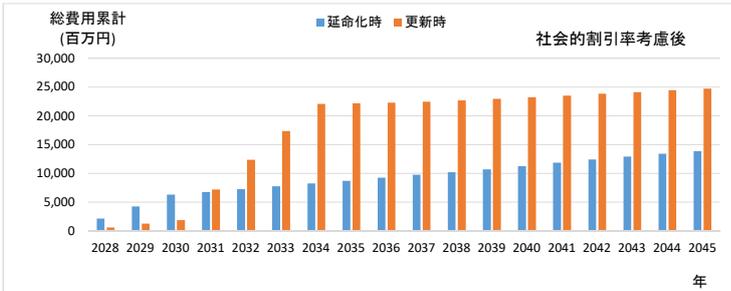
C 廃棄物処理LCC検討

## LCC算出ツール

項目	ユーザー入力欄	入力範囲	単位
現在の施設	施設種類	全連続運転(発電付き)	選択
	稼働開始年	2010	1980～2010 年
延命化の場合	施設規模	380	正数 トン/日
	延命化工事開始年	2028	2020～2030 年
	延命化工事年数	3	1～5 年
	延命化目標年	2045	2030～2060 年
施設更新の場合	稼働開始年	2035	2021～2050 年
	更新工事年数	4	1～5 年
	想定稼働期間	30	20～40 年
	施設規模	380	正数 トン/日
社会的割引率	4	0～10	%

施設建設工事費計算結果

現施設	18,888	百万円
延命化工事	4,598	百万円
更新施設	21,195	百万円



社会的割引率考慮後

比較項目	将来の対応	検討対象期間	
		18年間	2028年度～2045年度
点検補修費	延命化する場合	9,435,632千円	6,949,327千円
建設費	更新する場合	—千円	17,782,806千円
延命化工事費		4,423,156千円	—千円
小計		13,858,788千円	24,732,133千円
残存価値	現施設	—千円	—千円
	新施設	—千円	7,253,955千円
合計(残存価値控除後)		13,858,788千円	17,478,178千円

D 延命化工事実施時期

工事実施時期	2028	年度～	2030	年度	※LCC算出ツールの入力値が入る
--------	------	-----	------	----	------------------